



「全日本プロバス協議会ひろば」第1号発行

大きな反響に事務局決意新たに

今年1月元旦付で「全日本プロバス協議会ひろば」第1号(右)を発行したところ、本部事務局には、当初予想をはるかに超える大きな反響が届きました。会員クラブの皆様方からの暖かい激励や期待に接し、これからも一層プロバスクラブ全体の活性化のために頑張ろうと決意を新たにしております。

反響の一端を紹介しますとー。「素晴らしい内容でたいへん嬉しく、携われた方のお力に感謝申し上げます。当会の1月例会で回覧させていただきます」「素晴らしい内容に感服しております。早速当方理事他に送るとともに次回1月例会にはクラブ員の眼に触れるよう配慮いたします。全日本の活発な動きが感じられ、今後の大いなる活動を期待しております」、また、昨年11月に三重で開催された全日本総会に代表を派遣することが出来なかったというクラブからは「このようなニュースを届けていただき、みなさんの活躍がよくわかり、今後の活動の力となります」等、たくさんのおほめの言葉や励ましをいただき、感謝いたしております。

さらに、「プリントして回覧したいと思っています」「早速幹部役員に発送いたしました」「ひろばのデータを刷り増して役員、理事、及びロータリークラブ事務局に配布いたしました。会員には例会時に配布したいと思います」などの嬉しい便りも多く届いています。

他にも、たくさんのお便りや顧問からもお便りをいただきました。「ひろば」は年2回、それに今回の「全日本プロバス協議会ニュース」は隔月にお届けする予定です。メール送信を基本としていますので、メール受信体制のないクラブには早めに送受信体制を整えていただきたくと思います。メール受信をしますと、刷り増しや転送で貴クラブの役員・会員の皆様等にも配布が可能となりますので、よろしくお願ひいたします。



| 頁次 | 目次 | 担当 | | |
|------|------------------------|--|----------|------------------------------------|
| 2 | 会長新年挨拶 | 会長 百賀 清子 | | |
| 3 | 総務部総会三重で開催 | 前事務局長 森田 功 | | |
| 4~6 | 交流の輪広がる式典・総会 三重大会実行委員長 | 鈴木 史郎 | | |
| 7~15 | 理事兼任の預告 | 山内和夫 川原崇 轟和吉三 坂本 眞 菅原英作 熊本威勝 中野啓隆 坂本 眞 田中正了 須藤 隆 中野明夫 岩崎 孝 正徳裕弘 立川龍雄 小丸隆 山口 隆 高田年昭 内野 烈 伊藤雅直 山中 隆 16~19 | 退任理事のご挨拶 | 平村 實 立川富美代 森山 功 松尾 隆 永勝 龍子 今西良雄 |
| 20 | 会員クラブからのお知らせ | マニラプロバスクラブが創立50周年 マニラプロバスクラブが交流会開 | | |

(幹事長 松本忠)

賛助会員制度スタート

更なるご理解とご協力を

平成 30 年度の賛助会員募集が今年1月に行われましたが、出足は今一つです。この制度について「今一度、説明を」との要望も届いており、周知が図られていないとの反省の上に立って、改めて説明させていただきたいと思えます。

全日本プロバス協議会の賛助会員制度は、昨年 11 月に三重で開催されました第 8 回総会で決まった制度です。現在、1 クラブの年会費が 3,000 円で、最大 60 クラブに会費を納入していただいても年 18 万円。これでは活動らしい活動が出来ないと第 8 回総会で年会費を 1 万円に改定しました。しかし実施時期は 2019 年度(2019 年 7 月以降)となっていて、今年度は 3,000 円のまま徴収しております。

新年度の活動方針の柱として IT を活用した全国プロバスクラブの情報発信・交流が議決されました。それに基づいて北九州プロバスクラブ内にある全日本本部は、今年 1 月元日付で「全日本プロバス協議会ひろば」第 1 号を発行したほか、メール(持たない方は郵送)を活用して常任理事・理事の皆さん方のご意見をお伺いする「持ち回り理事会」を昨年 12 月に 2 回、今年 1 月に 1 回開催しました。これは当面月 1 回のペースで開催する予定で、他に隔月で全国の会員クラブ等に「全日本プロバス協議会ニュース」を発行する予定です。

このような活動を継続していくには、まず全日本の基本財産となるパソコンや印刷機連絡用携帯電話などが欠かせず、従来通りの一般経費に、それらの購入・維持費等新たな経費が必要となってきます。ところが、平成 30 年度の会費納入状況を見ますと、1 月末現在で会費を納入したのは 58 クラブ、金額にして 17 万 4000 円しかありません。若干の繰越金はあったものの、今年 2 月初めには早くもピンチに陥りました。

以上のような事情から今回、全日本の常任理事・理事の皆様のほか全国プロバスクラブの会長様等会員の皆様等を対象に、平成 30 年度の賛助会員募集をお願いしました。どうぞご理解の上、ご協力賜りますようお願いいたします。

幸いにもその後、賛助会員が次第に増えてきました。以下は 2 月 20 日現在の賛助会員(入会順、敬称略)です。(永久会員は 10 口以上協賛金をお寄せ頂いた方です)

▽永久会員＝山内和夫(旭川)

▽個人会員＝森山功(横濱)、古賀靖子、松本忠、竹原英作、中山正英、安高

洋一、住吉育代(以上北九州)、中村實(横濱)、川端崇且(大阪)、島村吉三久(五所川原)、田口隆夫(鈴鹿西)、植田佐世

子、神田澄男、米谷元則、北島保和(以上北九州)
▽団体会員＝横濱グリーン、堺、横濱

(幹事長:松本忠)

奈良プロバスクラブ



創立 5 周年記念式典と祝賀会のご報告

奈良プロバスクラブ 会長 熊本 國勝

全国で 104 番目に設立された奈良プロバスクラブの創立 5 周年記念式典を開催いたしました。

クラブ概要はつぎの通りです。

名 称 奈良プロバスクラブ(全日本プロバス協議会会員)

提 唱 RC 奈良ロータリークラブ

事 務 局 奈良市右京 4 丁目 1-13

設 立 2014 年(平成 26 年)1 月 27 日

クラブテーマ「常に青春を」

(FOREVER YOUNG)

会 長 熊本國勝

会 員 数 38 名(2019 年 2 月 1 日現在)

式典開催日 2019 年 2 月 17

日(日) 12:00～15:00

創立 5 周年記念式典・祝賀会を、奈良市内のホテル日航奈良にて開催致しました。

出席者は、奈良市長を始め、ロータリー関係者 7 名様、日本

プロバス協議会の古賀会長・役員 11 名様、近隣のプロバスクラブから 7 クラブ 31 名様、奈良プロバスクラブ会員・家族 39 名、合計 90 名が出席し、ご出席者や会員のご協力で、式典・祝賀会を盛大に開催する事が出来ました。感謝！

尚、奈良プロバスクラブでは、創立 5 周年記念事業として、クラブ例会時の卓話を



古賀全日本会長よりご祝辞を頂きました



会員記念写真は 38 名ですが会場準備等で揃いませんでした。

一般市民に公開(合計4回、延べ人数200人が聴講)し例会を開催しました。又、記念式典に於いて、会員からの善意による寄付金を積み立て、奈良市長を通じて、金10万円を奈良市善意銀行に寄贈致しました。

企画「わがクラブ1月の活動」-①



鈴鹿西プロバスクラブ

会員の活躍ぶりを披露

会長 田口 隆夫

鈴鹿西プロバスクラブの例会は鈴鹿市内のホテルグリーンパークに於いて1月17日(木)12時30分より23名出席(1名欠席)し「新年会」を兼ね開催しました、開会前に高橋会員の琴とご友人の上田流師範寺田鳳懂先生の尺八のコラボ(写真右)で、春の海、アメージンググレイス、飛躍の3曲の演奏と背景には「迎春」の素晴らしい書(田中会員のご友人の吉川和子様作)が飾られ正に厳かなお正月の雰囲気が始まりました。



例会に入り会長挨拶後に長田幹事による幹事報告があり、その中で鈴鹿市の出初式の折森脇南海子会員(モリワキエンジニアリング専務取締役、Wikipedia掲載会社)が鈴鹿市消防本部よりバイクによる防災組織の確立等で表彰された報告(写真中)と2月7日にオプション行事で南部武司会員が彫塑(写真下)で日展入選し、名古屋日展会場見学案内がありました。又、今年目標は来年の20周年事業の準備と五所川原開催の全日本プロバス総会大会の参加についての件等の幹事報告がありました。



次に新年の宴「共に元気に楽しく」が始まり福井副会長の乾杯の音頭で楽しい宴が始まり、会員相互の親睦と



友好を温めカラオケ大会や最後に「鈴鹿西プロバスクラブ応援歌」を全員で合唱し閉会しました。

企画「わがクラブ1月の活動」-②



徳山プロバスクラブ

親睦と友情の目的に沿って

副幹事 村田 正樹

「第1条 会員相互が健康で親睦と友情を深めることを目的とする」徳山プロバスクラブは、現在、大正15年生まれの方を大先覚とし会員数19名(内女性1名)。

「日本五大工場夜景」に選ばれた海を囲むコンビナート群。その中心地に位置する徳山駅。私たちの月例会会場もそのすぐ近くのホテルです。

さて、1月の活動報告。会は7月の総会に始まりますが、そこは新年。10日は例年どおり「新春例会」と銘打って華やかに新しい年を祝いました。その流れは①会長挨拶(写真) 新春を寿ぐ中に、会員数の充実が目標よ、と。②年男のお祝い③祝いの謡④乾杯⑤ビンゴゲーム、カラオケ。



また、本会では会報「陽春(写真)」を年2回発行していますが、2回目がこの頃。ちなみに、今回の「陽春」は全12ページ。その構成は①会長挨拶②特別例会の思い出1-賀寿の宴 2-大河ドラマを追う秋の親睦宿泊旅行・鹿児島③卓話を振り返る④内富烈会員「全国プロバス協議会」理事に就任⑤会員寄稿3名⑥上半期行事報告。



また、月例会とは別に第二例会として茶話会ももっています。その他臨時も。今会員候補3名の朗報、内女性1名。さらに、4月の恒例日帰り花見旅行の計画で盛り上がっているところです。



寄稿①



日本のプロバスクラブ・関西ブログ版 について

大阪プロバスクラブ 広報委員長 西宮富夫

1. 当ブログ運営は大阪プロバスクラブ

「日本のプロバスクラブ・関西ブログ版」<https://probuscent.exblog.jp/> は、大阪プロバスクラブの広報委員会が運営している。

2001年(平成13年)7月の大阪プロバスクラブ創立の数年後、別所泰会員が広報委員長となり、最近まで「会報作成」と「会報送付(交換)」を担当してきた。加えて、(ブログに記載されているように)会報交換によって大阪プロバスクラブに送られてきた他クラブの会報等を、Excite blog の無料サイトで「日本のプロバスクラブ・関西ブログ版」として、「公開」してきた。

ところが、2017年10月ごろ別所会員が病気で倒れ、「会報作成」、「会報送付」、Excite blog での「会報公開」のすべてが中断した。その後、2018年1月理事会で新たに広報委員長が任命され、「会報作成」が再開した。2018年7月理事会にて、別所会員(現名誉理事)も出席し、広報委員長が行ってきた「会報送付(交換)」、「会報公開」も従来通り、再開することとなった。

現在、会報は、基本的に従来送付していたクラブに送付しているが、郵送による送付と、メールによる送付を行っている。その割合は半々位である。

一方、送られてくる会報は現在、①紙ベースの会報、②ワードの会報、③PDFの会報、④1ページ1画像の会報、の4タイプである。これらの会報をExcite blogへアップロードするまでの手順は、次の[表]の通りである。

届いた会報を1ページごとに1画像(JPEG)に変換し、1画像ごとにExcite blogへアップロードしているが、この作業は殆ど手間がかからないことがわかると思う。

なお、当ブログは無料のため、データ量に限界(1Gまで)がある。そのため、原則として1クラブ1会報の公開とし、新しい会報をアップロードするたびに、前回アップした会報は削除している。

[表]送られてきたクラブ会報をExcite blogへアップロードする手順

| | | | | |
|--|-------|------------|-----------|--------|
| | 会報タイプ | PDFへ変換(※1) | 画像へ変換(※2) | アップロード |
|--|-------|------------|-----------|--------|

| | | | | |
|---|------------|----------------|---------------|--------------------|
| ① | 紙ベースの会報 | スキャナーでPDFへ変換 | 会報1ページを1画像へ変換 | Excite blogへアップロード |
| ② | Wordの会報 | CubePDFでPDFへ変換 | 会報1ページを1画像へ変換 | Excite blogへアップロード |
| ③ | PDFの会報 | — | 会報1ページを1画像へ変換 | Excite blogへアップロード |
| ④ | 1ページ1画像の会報 | — | — | Excite blogへアップロード |

2. 複数のクラブ会報を一覧できるブログが増えて欲しい。

各クラブの会報には興味ある記事が必ずある。「日本のプロバスクラブ・関西ブログ版」に、他クラブ会報をアップロードする機会に、時々各会報を流し読みしながら、興味ある記事を止まって読むことがある。度々そういう機会があるが、不思議に飽きが来ない。内容がどんどん変化しているためかもしれない。そういう点で別所会員が立ち上げた当サイトの運営はやりがいがある。

ところで、ネットへのアクセスに弱い会員も多いように思われ、そのため、紙ベースの会報が、例会参加の証にもなり、クラブ運営には重要と思われる。しかし、このタイプの会員には、他クラブ会報は回覧する形となる。例会で複数のクラブ会報をまとめて回覧する場合、余程の事情がなければ、多くの会報は流し読みか、またはチラ見で終わることにならざるを得ない。

一方、ネットへアクセスできる会員は、自クラブ会報がネット上にあれば、例会に出席できなかった時など会報にアクセスできるので便利である。しかし、例えば「日本のプロバスクラブ・〇〇ブログ版」といったブログで、近隣の全プロバスクラブの会報が一覧できるとすると、会報が更新される度に色んな興味ある記事に出会うことができ、飽きも来ないし、楽しみも増えるかもしれない。

無料でブログ開設できるネットサービスは多い。例えば Excite blog のトップページに無料ブログ開設ボタンがあり、容易にブログ開設ができるようになっている。ブログ開設やブログ運営はあまり手間もかからないので、**多くのクラブ会報を一覧できるブログが増えてほしいものである。**

最後に、筆者が利用している、ワードで作成した会報を PDF に変換するアプリ(表※1)、PDF を画像 (JPEG) に変換するアプリ(表※2)、を参考に紹介する。すでにご

存知の方が殆ど、と思われるが、誰でも無料で入手できるアプリである。

以上

(※1)PDF への変換アプリ

「CubePDF」はプリンターとしてインストールされます。

そのため、「印刷」ボタンのあるアプリケーション(ワードなど)であればどれでも、PDF へ変換することができます。

もちろん、他にも同じ機能のアプリは多い。

(画像は筆者が使っているアプリの TOP 画面)



(※2)PDF を画像 (JPEG) へ変換するアプリ

「4Videosoft フリー PDF JPEG 変換」は完全無料な PDF JPEG 変換アプリで、制限なく、高品質で PDF ファイルを JPEG に変換できます。1 ページごとに 1 画像に変換します。

もちろん、他にも同じ機能のアプリは多いと考える。

(画像は筆者が使っているアプリの TOP 画面)



寄稿②



事務局幹事を引き受けて

北九州プロバスケットボールクラブ 幹事長 中山 正英

昨年12月2日(日)に全日本プロバスケットボール協議会の本部事務局が北九州プロバスケットボールクラブ内に発足し、3ヶ月が経過した。あっという間であった。振り返ると、12月の1か月間だけで事務局会議を5回(週1回のペース)開催し、「ひろば」第1号の今年1月元旦付発刊に向けて全力を傾けた。それだけではない。12月には持ち回り理事会を2回実施した。山積する課題と苦闘する毎日だったが、皆様からの反応、反響などの大きさに一喜一憂、ご指導、ご支援に感謝しつつ、達成感に多少浸ることができたのは望外の喜びであった。

1月に入ると事務局会議は月2回のペースに減ったが、賛助会員の募集、第3回持ち回り理事会に向けての作業が立て続けにあった。2月は、第4回「持ち回り理事会」に加え、「全日本プロバスケットボール協議会ニュース」第1号の3月発刊に向けて作業した。このような現状から、多少飛ばし過ぎの感があるのではと杞憂しているが、問題は山積しているし、引き受けた以上はやらねばならない。

事務局の作業が確立され、ルーチン化されれば余裕が生まれ「ひろば」「ニュース」「持ち回り理事会」のコンテンツの質が高まることが期待される。できるだけ早くその時が来ることを願いながら事務局の幹事6人が一丸となり、皆様のご指導、ご支援を受けながら、協働する喜びを得られたいと切に思う。



(お願い)

平成 30 年度会費の未納クラブは早めに納入を

全日本プロバス協議会の活動は年会費(平成 30 年度 3,000 円)によって支えられております。今年 2 月 15 日現在、会費納入クラブは連絡可能な 84 クラブ中 58 クラブしかありません。貴クラブの会費納入状況を再確認の上、未納であれば早めに納入していただきますよう、お願いいたします。

なお、振込者のお名前が分かってもどのプロバスクラブからの振込か分からないケースが数件出ています。いろいろ調べた結果判明しましたが、会計担当者などのお名前を本部に届け出ていない方は、振込後に届けていただくようお願いいたします。

貴クラブの情報、ご提案、ご意見等をお寄せください。

全日本プロバス協議会本部では、常任理事、理事の皆様だけでなく、会員クラブ及び会員の皆様からの情報、ご提案、ご意見を求めています。それらの情報等は全日本の「ひろば」や「ニュース」で全国の会員クラブ等に提供して意見交換を行い、各会員クラブの活性化等のために役立てていただこうと考えております。

特に必要な情報は、役員改選、周年行事、特別な企画イベント、新たな試み、「ひろば」や「ニュース」の企画の提案、その他何でも結構です。下記あてメールまたは事務局へ郵送していただければ幸いです。

情報提供先

全日本幹事長 松本 忠

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 13-13-522

電話&FAX 093-967-9925 携帯 080-1903-3014

メールアドレス pycts423@ybb.ne.jp

全日本本部事務局 幹事 中山 正英

〒805-0016 北九州市八幡東区高見 2-4-21

本部携帯電話 (未定)

本部メールアドレス (未定)